

令和6年1月5日

報道関係者各位

山県市

SDGs につながる取り組み
市の森林を活用した粗朶^{そだ}の学習
1月15日（月） 8時40分～ 大桑小学校

山県市立大桑小学校（校長 杉山 正高 以下 当校）は、今年度、SDGs の取り組みを行っています。ふるさとを土台として、子どもたちが起業の可能性や伝統の継承、自然保全への気持ちを持つようになることを目的に、環境保全と「粗朶^{そだ}」の魅力学びます。

SDGs につながる取り組みとして、山県市（市長 林 宏優 以下 当市）の森林を活用した粗朶があります。粗朶とは、直径数cm程度の細い木の枝を集めて束状にした資材です。粗朶は、コンクリートよりも強い耐久力があるといわれています。長良川の堤防では、川と土手との境を粗朶によって止めることにより、川の流れから堤防の安全を守っている箇所があります。

当市の資源を活用した粗朶が持続可能な産業になるように、岐阜県森林アカデミーの柳沢直教授の指導を受けながら、子どもたちに粗朶の素晴らしさを学ばせます。

日 時	1月15日（月） 8時40分～10時25分
場 所	・山県市立大桑小学校（山県市大桑2382番地1） ・山県市椎倉地内（粗朶） 詳しい地図はこちら
講 師	岐阜県森林アカデミー 柳沢 直 教授
主な参加者	大桑小5・6年生 15人、大桑小職員
活動内容	【大桑小学校】 8時40分～9時20分 岐阜県森林アカデミー 柳沢直 教授 粗朶やSDGs との関連についての説明 【山県市椎倉地内】※国道256号椎倉交差点信号を右折 9時35分～10時15分 粗朶の体験活動 10時25分 大桑小学校到着 ※児童は大桑小学校－椎倉間をバスで移動します。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市立大桑小学校 中村 裕美子

Tel : 0581-27-2151 Fax : 0581-27-3713

Mail : oogasyo@yamagata-gifu.ed.jp